

カラーユニバーサルデザイン推進支援講座 アンケート集計結果報告 (5会場)

以下は、講座終了時に実施したアンケート(別添)問1～4の集計結果を問ごとにまとめたものである。まず5会場のアンケート回収率を、次いで問1～問4の集計結果を示した。最後に、講座に対する感想・意見を記述してもらう問5(自由記述)を開催日順、会場ごとにまとめた。

| | |
|---------------|------------------------|
| 2023/12/07(木) | 豊田市役所 (参加人数18, 回答数16) |
| 2024/01/09(火) | 日進市役所 (参加人数19, 回答数19) |
| 2024/01/16(火) | 知多市役所 (参加人数20, 回答数20) |
| 2024/01/18(木) | 長久手市役所 (参加人数19, 回答数19) |
| 2024/02/14(水) | 尾張旭市役所 (参加人数18, 回答数18) |

1. 5会場のアンケート回収率

表1 アンケート回収率

| | 豊田市 | 日進市 | 知多市 | 長久手市 | 尾張旭市 | 全体 |
|------|-----|------|------|------|------|-----|
| 回答数 | 16 | 19 | 20 | 19 | 18 | 92 |
| 参加者数 | 18 | 19 | 20 | 19 | 18 | 94 |
| 回収率 | 89% | 100% | 100% | 100% | 100% | 98% |

2. 問1～問4の集計結果

■問1 あなたの所属部署はどちらですか。

| 会場 | 所属部署 ()内は人数を示す |
|--------|--|
| 豊田市役所 | 交通政策課(1), 市民活躍支援課(1), 循環型社会推進課(1), 障がい福祉課(1), 総務課(5), 豊田市中央図書館(1), とよた市民活動センター(1), 博物館準備課(1), 市民相談課(1), 資産経営課(1), 都市計画課(1), 福祉医療課(1) |
| 日進市役所 | 学習政策課(1), 環境課(1), 企画政策課(1), 下水道課(1), 健康福祉部市民課(1), 健康福祉部保険年金課(1), こども課保育係(1), 産業政策部農政課(1), 市民協働課(1), 人事部(1), 税務課(1), 総合政策部(1), 道路建設課(1), 都市計画課(1), 都市整備部(1), 図書館(1), 日進市基幹施設整備課(1), 保険年金課(1), 不明(1) |
| 知多市役所 | 学校教育課(1), 企画情報課(1), 健康推進課(1), 子ども若者支援課(1), ごみ対策課(1), 児童センター(1), 市民協働課(1), 生涯学習課(1), 生涯学習スポーツ課(2), 新庁舎建設室(1), 長寿課(1), 都市整備部水道課(1), 秘書広報課(3), 福祉課(1), 部子ども若者支援課(1), 防災危機管理課(1), 緑と花の推進課(1) |
| 長久手市役所 | 監査委員事務局(1), 企画政策課(2), 建設部下水道課(1), 子ども部(1), 子ども未来課(1), 市長公室秘書課(1), 地域共生推進課(1), 長久手市情報課(1), 長久手市たつせがある課(1), 福祉課(1), 福祉部(1), 福祉部長寿課(1), 保健医療課(4), みどりの推進課(1), 不明(1) |
| 尾張旭市役所 | 会議事務局議事課(1), 学校教育課(1), 議会事務局(1), 企画部広報広聴課(1), 危機管理課(1), 暮らし政策課(1), 健康課(1), 健康福祉部健康医療課(1), 子育て相談課(1), 財政課(1), 生涯学習課(1), 総務部総務課(1), 都市計画課(1), 都市整備課(1), 福祉課 |

| |
|---------------|
| (2), 保険医療課(1) |
|---------------|

■問2 あなたは色覚について関心がありますか(一つにチェック☑を入れてください)。

- ・色弱や色覚(色の見え方)の多様性について、これまであまり意識したことがなかった
- ・所属する部署や関係部署に色弱の(あるいは色弱の可能性のある)同僚がいるため、以前から関心があった。
- ・自分自身また身近な親族等が色弱であるため、以前から関心があった。
- ・その他

表2 問2の5会場全体の回答(チェック数)

| | 豊田市 | 日進市 | 知多市 | 長久手市 | 尾張旭市 | 全体 |
|---|-----|-----|-----|------|------|----|
| 色弱や色覚(色の見え方)の多様性について、これまであまり意識したことがなかった | 11 | 13 | 16 | 11 | 12 | 63 |
| 所属する部署や関係部署に色弱の(あるいは色弱の可能性のある)同僚がいるため、以前から関心があった。 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 5 |
| 自分自身また身近な親族等が色弱であるため、以前から関心があった。 | 2 | 2 | 2 | 4 | 1 | 11 |
| その他 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 13 |
| 計(個) | 16 | 19 | 20 | 19 | 18 | 92 |

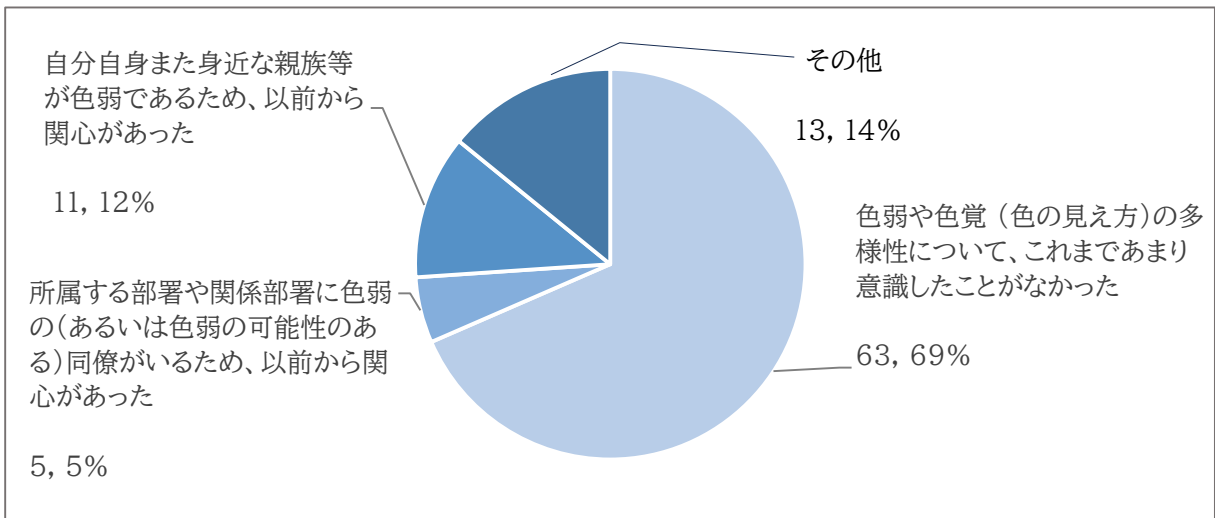


図1 問2集計結果

▼「その他」の記述

【豊田市】

- ・自分自身が白内障
- ・広報誌等を担当する部署であるため、以前から関心があった
- ・チラシやハンドブック作成時の配慮として

【日進市】

- ・色弱の友人がいるため関心があった。

- ・関心があった。
- ・色弱の友人がいるため関心があった。

【知多市】

- ・広報の作成にあたりCUDについて以前から関心があった。

【長久手市】

- ・業務上関心がありました。
- ・関心はあるが実際どこに注意しなければならないかわからない。
- ・仕事で色弱のお子さんと接する機会があるため、以前から関心があった。

【尾張旭市】

- ・関心があった。
- ・過去に広報誌の発行を担当していたので関心を持っている。
- ・大学で色覚の講義を受けたことがあり関心はあった。

■問3 今回の推進講座は、あなたにとって有益でしたか(一つにチェック☑を入れてください)。

- ・ひじょうに有益だった
- ・まあまあ有益だった
- ・普通
- ・あまり有益ではなかった
- ・意味がなかった

表3 問3の5会場全体の回答(チェック数)

| | 豊田市 | 日進市 | 知多市 | 長久手市 | 尾張旭市 | 全体 |
|-------------|-----|-----|-----|------|------|----|
| ひじょうに有益だった | 13 | 18 | 18 | 18 | 16 | 83 |
| まあまあ有益だった | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 8 |
| 普通 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| あまり有益ではなかった | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 意味がなかった | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計(個) | 16 | 19 | 20 | 19 | 18 | 92 |

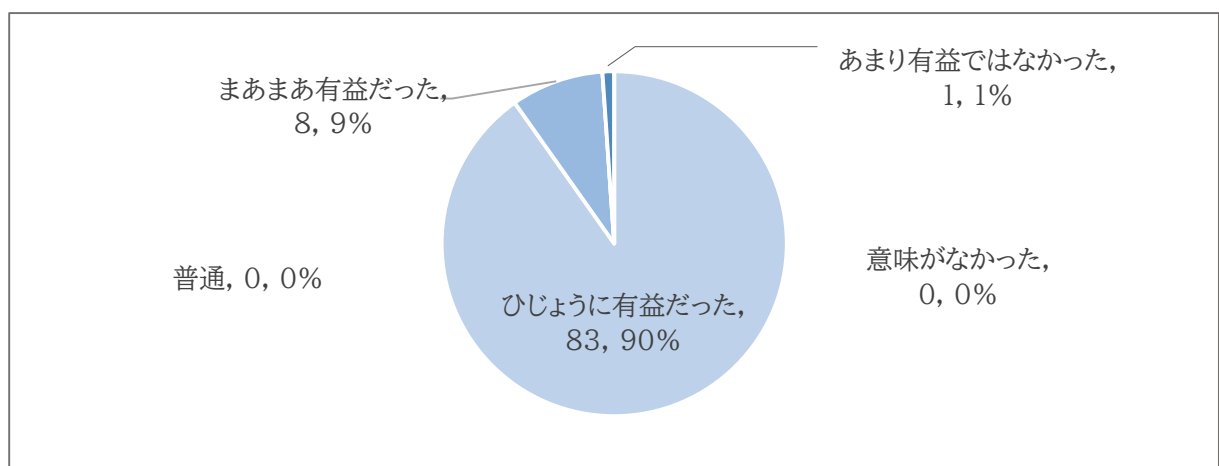


図2 問3にみるCUD推進支援講座に対する全体の評価

■問4 今回の推進講座の時間は適切でしたか(一つに☑を入れてください)。

- ・長かった
- ・少し長かった
- ・ちょうどよかった
- ・少し短かった
- ・短かった

表4 問4の5会場全体の回答(チェック数)

| | 豊田市 | 日進市 | 知多市 | 長久手市 | 尾張旭市 | 全体 |
|----------|-----|-----|-----|------|------|----|
| 長かった | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 少し長かった | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| ちょうどよかった | 8 | 14 | 20 | 15 | 18 | 75 |
| 少し短かった | 7 | 0 | 0 | 2 | 0 | 9 |
| 短かった | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 |
| 計(個) | 16 | 19 | 20 | 19 | 18 | 92 |

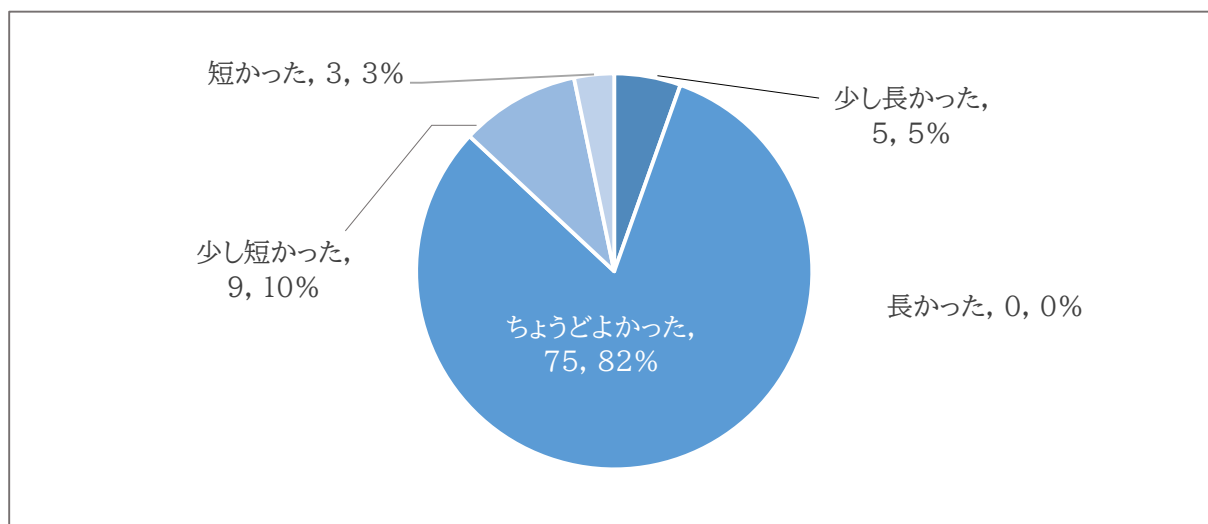


図3 問4にみるCUD推進支援講座の時間設定に対する全体の評価

3. 5会場の自由記述

■問5 その他の感想(本日特に印象に残ったこと、疑問をもたれたこと、今後どのような講座があればよいか等、自由にお書きください。)

| 実施日 | 会場 | 参加人数 | 用紙回収数 |
|---------------|-------|------|-------|
| 2023/12/07(木) | 豊田市役所 | 18 | 16 |

- ・色味が似てしまう場合など、分かりやすい説明で、今後の仕事に生かそうと思った。
- ・色弱者の色の持つイメージに対して興味がわいた。C型の方は、赤は情熱的、緑は自然な感じ、やさしいと思うが、色弱者の方は同じような色に感じてしまうので、そもそも色の持つイメージがあまりないのか、とか。
- ・色弱という認識はあったが、具体的な見え方を再認識したかったので、大変有意義であった。

- ・ワークがあまりできなかつたので残念でした。
- ・またチェックツールを活用してチラシや冊子作りに配慮したいと思いました。
- ・文字やグラフだけでも工夫して、多様な対応が大切であることが分かっただけでも良かったです。
- ・色に頼らない資料作りを意識するべきだと思った。
- ・実際に自分で使っているチラシをCUDチェックすることで、どのような問題があったかなど学ぶことができてほんとうによかった。
- ・強調として使用していた赤が、色弱の方には全くそうではないこと知り、ルーペを用いて自身で色の違いを感じる事ができたのが良かった。ワークでは実際にパワポを用いて工夫する体験や、こうすると良いというアドバイスが聞けたので、自身の業務に生かしたい。
- ・チラシ作成時はシミュレーターを通すことを意識し、職場の人にも伝えていきたい。
- ・色に頼らない表現が大事である事を今後気を付けたいと思いました。「色の名前に頼らない言葉づかい」も気にしていきたいです。
- ・思っていた以上に色弱は見えにくいということを学びました。よくやりがちな赤色での強調は、あまり効果がない一方で、一般の人も見やすい色づかい、または工夫をする必要があると思いました。
- ・色弱があると宇宙飛行士になれないというくらいしか知識がなかったが、色の見え方が違うだけで日常でも不便なのだということがわかってとても良かった。またグラフや地図などを作成することが業務上多いので、チェックツールを用いて多くの人に、より見やすいデザインのものを作れるようにしたいと思った。
- ・ひとくりに赤とか緑とか言ってしまうがちだが、自分の見え方も人とは違うのかもしれないなと思った。ありがとうございました。
- ・自分自身があまり色の見分けがつきにくい方なので、自分がわかりにくい配色のチラシは作ることはないが、今回知ったツールで様々なタイプの見え方を確認しながらチラシを用いて、色々な人にわかりやすいチラシをつくれるようにしたいなと思った。また説明で色を使わない表現も大事だと感じた。
- ・自分自身、色の見え方にはほとんど問題ありませんが、蛍光色が見づらかったり、フォントによってはっきり見えないものがあり、苦勞することがあります。自分を基準ととらず、誰しもが見やすい、わかりやすいものを作っていきたいと強く感じました。
- ・実際に色々なツールを用いて講義して下さったので、とてもわかりやすかったです。もう少し話を聞きたかったです。
- ・色弱者から見える色の印象は自分が想像していたよりも難しい位置にあることが分かりました。今回の研修で教えていただいたツールを活用しながら、文字にも強調性を持たせるなど気をつけて作成していきたいと思いました。今回学んだことをセンター内で共有し、すべての人が見やすいチラシ作りに心がけたいです。
- ・市民の方への対応の時に〇〇色の紙等の表現をよく使っているなど自分自身で気づいた。今後は紙に書いてある文章を読み上げる等して、誰にでも伝わりやすい表現を心がけていきたいと思った。
- ・文章内で赤を使って強調することが多いですが、今日学んだことを活かし今後はオレンジ色などを使って、弱者に配慮したデザインをしていきたいと思いました。またチェックツールについても職場において活用していきたいと思います。
- ・色弱の場合の色の見分けにくさを体感することができてよかった。見え方のチェックツールを紹介いただけだったので、今後の業務に活用したい。”色にたよらない表現“という言葉も印象に残った。意識して広報物の作成をしたい。
- ・色のチェックの手法を具体的に学べ、すぐに日々の業務で実践できると思いました。

| 実施日 | 会場 | 参加人数 | 用紙回収数 |
|---------------|-------|------|-------|
| 2024/01/09(火) | 日進市役所 | 19 | 19 |

- ・学生時代の友人に色の見分けがつきづらい人がおり、青の上着を取って！などの指示が伝わらず何回か困ったことを思い出しました。友人とは、分からない時はわからない！と言ってもらえる間柄だったので特別大きな問題はおこりませんでした。今後は様々な方とやりとりをする上で本日の講義内容をふまえて誰にでもわかりやすい形を取れるように努力しようと思いました。大変勉強になりました。
- ・講義を受けた上で、自分自身で説明することがとても悩ましかった。簡単すぎても難しすぎてもダメという所より複雑な説明になってしまった。自分の中でよりよい形で消化していきたい。
- ・当事者の談話で、日常生活での具体的な困り事(信号機の色や焼き肉の焼き加減など)の話が印象に残りました。
- ・今まで色についてほとんど意識したことがなかったが、この研修を受けて色に対する気付きがありました。今の部署でポスター、チラシを作成することがあるので、その時にはこの研修で学んだ内容を活かしていきたいと感じました。
- ・以前に障害福祉の分野に携わっていたため、少し知っていることはあったものの、実際に色弱者の方の視界を体験したり、話を聞いたことで普段の業務等で配慮が足りていなかったことが分かった。当事者の実体験を聞くことができて良かった。
- ・バリエーションツールを使用して、色弱の方の見え方を体験でき、どのような点に配慮して今後業務に取り組んでいく必要があるかイメージできました。
- ・実際に色弱の体験をしたことで、普段自分が見えている見え方と大きな違いがあることがわかった。今後の業務では色弱の方に配慮した色づかいができるように意識していきたい。
- ・今回研修で学んだ内容を子どもたちに伝え、世の中に浸透することが重要だと感じました。
- ・学生時代に、ノートにパステルピンクで字をかいていたなら“見えない”と友人に指摘されたことがあり、関心を持っていました。今日実際に色弱の方の話を聞くことができ、またレンズを通して自分でも体験することで、ぐっと理解が深まったように感じます。今後資料作成の際に、CUDに配慮し、色弱の方にとっても読みやすい資料作成を心がけたいと思います。
- ・資料の作成の際に、わかりやすいものと思って、パステルカラーを使用していたが、色弱の方にとっては、逆にわからぬ、わかりにくい資料になっていたの、気をつけていきたい。今回初めて色弱の方の見え方を体験し、どのように見えているかを知ることができたので、この体験を忘れずに、資料を作成するときにはユニバーサルデザインに配慮していきたい。
- ・もう少し当事者の方の話を聞ける時間、実際の体験もなにかもう一種類くらいメニューがあるとより深く理解できたと思う。
- ・色弱の方の実際の体験談が印象的でした。今までは色弱と聞いて何となく、色が見えづらい人だろうな程度だったので、赤と緑の見え方におどろきました。市の広報を作るなど色に直接関わる業務が多いので、今回覚えたことを活かしていきたいと思います。
- ・色覚の多様性について、色の見分けがつきにくい方の人数が想像よりもかなり多いことを知り、CUDの重要性について大きな気づきがありました。日常の情報表示はかなりの部分について色に頼っている印象で、単なる生活の不便にとどまらず、例えば災害時などには生死を分けることも想定できます。行政は重要度の高い情報伝達を担う機関でもあるため、CUDに対する関心と理解に加え、具体的な取組みが強く要請されるのではないかと感じた。
- ・バリエーションツールを装着して、商業施設等を歩いてみたいです。体験で折り紙を振り分けたことがとても良い経験となりました。
- ・見えづらくらいの印象でいたため、ものによっては大事な情報が全く見えていないことがあるという点におどろいた。チェックツールがあることを知らなかったの、今後は積極的に活用していきたい。当事

者の方のお話が聞けたのがとてもよかったし、見えない部分を知識等でおぎなっているという話が印象的でした。

・チラシ(健診の案内等)を毎年作っているのですが、今日学んだことは活かしたいとおぼしました。

| 実施日 | 会場 | 参加人数 | 用紙回収数 |
|---------------|-------|------|-------|
| 2024/01/16(火) | 知多市役所 | 20 | 20 |

- ・自治体でのカラーユニバーサルデザインの推進率がどの程度あるのか気になります。推進している自治体はチェック体制をどのようにしているのでしょうか。一般の目からは問題なく見えてしまうので難しい課題だと感じました。
- ・勉強になりました。今後の業務の参考とさせていただきます。
- ・色が分からないことが、日常生活に具体的にどういう苦勞を生ずるのか、もっと色んな声を聞かせていただくと、CUD対応に向けた取り組みがより進むのではないかと思います。
- ・全ての人にとって見やすい色づかいを考えるとよい機会となりました。中でも印象に残っていることは、「白黒コピーで見えるようになれば間違いない」ということです。自分が作った資料が誰にとっても見やすいものになるように明度差をつけることを意識したり、今回学んだ配色の資料を参考にして配色を考えていきたいと思います。
- ・色弱の方が色をどうやって見えているかが分かった点や、色弱の方から実際に話を聞いたことで理解しやすかった。カラーの素材でいろいろワークショップがあったが、色を使わないものでどうしたら見やすくなるかという講座があればぜひ聞いてみたいと思いました。
- ・本日の研修大変参考になりました。特に赤字、赤の背景が見えにくいというのは初めてで印象に残りました。資料やパワーポイント等重要部分は赤字、背景をよく使用していたので、背景の濃淡や字の強調、言葉や字の説明でよりわかりやすい資料を作るよう心がけようと思います。
- ・「極端なことを言ってしまうと、白黒印刷をした際に情報が伝わるかどうか」という言葉が印象的でとても分かりやすかった。市役所の文書は大体黒色なので分かりやすかった。
- ・自分が思っていた以上に色の見え方は人それぞれであったため、今後チラシを作るときはそこを意識していこうと思ったのと、色に頼りすぎず補足情報を加えながら作ろうと思った。
- ・今まで資料等を作成する時に色について自分から見ると見やすいか見にくいかだけを考えていたが、少し色の明暗や組み合わせを考えるだけでより多くの人が見やすい資料になるのだと思いました。今後ずっと色とはつながっていくので、色についてももっと知って資料作成等につなげていきたいです。
- ・富永さんの講義で印象に残った言葉がありました。「色の名前は共通ではない」、「色の名前に頼らない」という言葉を聞いて、大変納得しました。色弱者は外見では判断が付きにくいいため、思い込みなどで相手を困らせてしまう可能性があると感じました。
- ・今回CUDの講座を受け、誰でもわかる情報発信の必要性を感じ、また興味を持ちました。明度差をつけること、色の濃淡、迷ったら白黒コピーでの確認をして、よりよいものを作成していきます。①セルフチェック、②シミュレーター、③バリエーション、そして④当事者による検証につとめてまいります。ありがとうございました。
- ・自分が作ったチラシなどが見やすいかどうか確認できてよかった。今後はアプリやWebなどで確認していきたい。
- ・子ども向け、若い親向けのものが多いので、かわいさを保ちつつデザインに気をつけたい。
- ・赤字だけでは伝わらないということがわかった。文字を白や黒で囲ったり、アンダーラインを入れるとよいことが分かった。また色弱の方は黄と青が得意ということだったので、そのような組み合わせで作りたい。オシャレとしての色と意味のある色づかいというものをもう少し掘り下げて講義してくれるとよい

と思った。

- ・R3年に広報ちたのオールカラー化をして以来、見やすい色づかいを心がけてきたつもりであったが、逆に色に情報伝達を頼り過ぎてしまっていた部分もあったと感じた。形や模様、テキストと併用し、より多くの人にとって伝わりやすい紙面づくりを目指したい。無料チェックツールの存在も今日の研修で知ったので、活用したい。
- ・今まで色弱について深く考えていなかったもので、色の見え方がこんなに変わるとは驚きだった。今後の資料作成には注意していきたい。
- ・全戸配布する資料なども作りますので、今回の講座はとても有意義でした。明暗は分かりやすい。色はむずかしいと思いました。
- ・バリエーションで色紙を5分類する体験はとても面白く勉強になりました。私は高齢者向けの印刷物をつくることが多く、これまでの白黒でも見やすいように意識してきましたが、白内障の方や色弱の方にとってもわかりやすいものとなるよう色の濃淡をつけてコントラストをはっきりするように気をつけたいと思いました。
- ・今まで色弱者の方の存在を意識してチラシ等を作成していませんでした。どんな見え方をしているか、どのような工夫をすると見やすくなるかを知ることができたので、今後の業務に活かしていきたいです。
- ・強調したいところは赤を使用するが、色弱の見え方では、黒っぽく見えてしまい分かりづらかった。必ず“赤＝注意を引きやすい”ではないのだなと気付きました。色に意味を持たせる際には、追記して情報を足すと分かりやすくて良い。
- ・本日の講義を受けて、自分とは違う感覚の方への気づきを今までしてこなかったことに気づいた。これからの業務において相手の立場を考えていきたい。

| 実施日 | 会場 | 参加人数 | 用紙回収数 |
|---------------|--------|------|-------|
| 2024/01/18(木) | 長久手市役所 | 19 | 19 |

- ・CUDに配慮するとデザインとしては格好よくないこともある。求められることは何かによって配慮の度合いを変えて全然かまわないんだという当事者の人のおことば。もともと、資料は白黒で作ってもわかるものになるよう気をつけていましたが、それは正しかった。しかし目立つはずの補色(赤と緑)が意味をなさないといった新たな気づきをいただきました。光るものがみにくいということも。
- ・今まで赤字が見やすいと考えていたので、チラシを黒字と赤文字を使用したのですが、今回の講座で赤字は黒字と変わらないとういことを学び、黄色を引き出して赤字をオレンジにしたり、下線をひいたりするなど、すぐに自分が出来るところから変えていこうと思いました。色の配色に迷った時は、”白黒で印刷したときに見やすいもの“を意識することがCUDを取り入れることの第一歩だと思いました。この考え方が広まるだけで、よりCUDが浸透した世の中になるのではないかと考えました。
- ・初めてCUDについての知識を勉強でき、実際に色弱の方のお話もうかがうことができ、とても有意義な講座でした。注意点を赤で強調することが多かったですが、色以外の方法でも分かるようにするべきことがとても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・メガネをかけたら気持ち悪くなった。黄と緑くらいは似ているので、見分けづらい人はいるかなと思っていたが、赤と緑が同じに見える方がいる想定はなかった。きちんと配慮すべきところには配慮しようと思った。
- ・私たちが分かりやすいと思って使っていた色が、色弱の方には見えにくくなっていることもあることが分かった。当事者の話が聞けたことがとても有意義でした。
- ・業務のテーマカラーにより、濃淡だけで区別していたが、他の工夫も必要だと感じた。フォント、サイズ、背景、アミかけなど。

- ・色弱という言葉は知っていましたが、実際がどんなものか？を学ぶことができました。つい弱者になる方々が全員良くなるようなデザインを目指してしまっていますが、ご本人から強調したい部分でなければ影響がないという話を聞いて、日常業務に活かしたいと思いました。
- ・当事者の見え方がわかったので、とても良かった。またデザイン性を失うほど強く配慮する必要はないと知った。情報を正しく伝えることが重要だと分かった。
- ・必ず伝えたいことを含むデザインについては、どんな方にとってもその重要性が伝わるようなデザインの工夫をする必要があると感じた。仕事上、グラフデータや地図など、情報を伝えるデザインを作成することがあるため、勉強になった。色に加え、文字のサイズやコントラストなど、知識を持った上で工夫することで情報を正しく伝えられるデザインとなるので、多くの人にカラーユニバーサルデザインについて少しでも知ってもらい、意識づけをすることで情報を伝えられるデザインが増えると思った。
- ・40人に1人程度の色弱者が存在することが印象に残った。今後、課から住民へ発信する資料には色使いに配慮したい。
- ・今回実際に色弱体験や当事者の話を聞く事で今まで気づけなかった事を確認することができてとても勉強になりました。今後は、あらゆる人がわかりやすいような資料づくりが出来るよう業務に取り組んでいきたいです。
- ・当事者の方からの生の声を聞くことができて、とても参考になりました。準備等もろもろ対応頂き、ありがとうございました。
- ・バス路線図のように色によって情報を伝えている冊子については特に配慮が必要だと感じた。
- ・私の身近には色弱の人はおらず、CUDという言葉の知識もなく、色づかいに気をつけることも、これまで意識していませんでした。今回の研修を通して、色の見え方や、どのような色づかいが望ましいのか学ぶことができ、今後の業務にぜひ活かしたいと思いました。
- ・色覚の多様性について理解できました。今後の刊行物の作成をする際にはCUDを意識して作ってきたい。
- ・実際に当事者の方からお話を聞くことができ、困り事にそもそも気が付かない(見えないため)事があるかもしれないと知り、必要な配慮についてもっと勉強したいと感じました。とても勉強になる機会でした。ありがとうございました。
- ・色覚は本当に人それぞれ見え方が違うことを体感でき、勉強になりました。赤・緑が黒と区別がつきにくいこと、青や黄は見やすいこと、強調したい内容は色ではなく、柄や線を使用すると誰にとっても見えやすいことなど今後業務で気かけられることを知れて良かったです。
- ・赤が見づらく強調したい文でも逆効果になってしまうことは知りませんでした。チラシ作成の際には、オレンジや青を使用します。私の兄弟は私以外全員色弱で、「焼肉の色が分からない」、「信号の色が分からない」と困って、手助けすることが多かったです。私生活で困らない配慮を充実させたいと切に思います。有益なお話ありがとうございました。当事者の方々も言いづらいこと、過去にくやしい思いをしたことがあったと思いますが、私たちの学びのために丁寧に対応して頂き、誠にありがとうございました。兄弟にも聞いてみながら今後活かしていきます。
- ・色弱者の方々にとって赤字が見にくい。青と黄は比較的に見えやすいなどということが分かった。今まであまり気にとめることがなかったが、これからは業務に参考としたい。

| 実施日 | 会場 | 参加人数 | 用紙回収数 |
|---------------|------|------|-------|
| 2024/02/14(水) | 尾張旭市 | 18 | 18 |

- ・色以外の情報を追加することの大切さ、工夫次第で見やすくなることが体験を通してよく分かりました。疑問点:色弱の方はいつごろ(何才ごろ)そのことに気付いたでしょうか?色弱の方の交流の場等はあ

るのでしょうか(こどもの友人に色弱の方がいます)。


- ・一般的に、カラフルなパンフレットやチラシで華やかに見えるものがありますが、色覚弱者にとっては分かりにくい場合があると気づきました。実際にメガネで体験してみると、赤が全く分からず、黒に見えました。注目させるために使いがちな赤色ですが、こういう視点をもって周知文やチラシを作成していきたいです。
- ・赤でも明度や彩度によって見え方が違ったり、“「注意」は赤だろう”というような当事者さんの意識があるということが知れてよかった。同じグループに見え方の違う同僚がいて、本当に特別なことではないと感じた。非常に有意義でした。ありがとうございました。
- ・他部署の方の改悪された例を見たときに、色弱ではない我々も見にくさを感じました。そのため作成段階である程度は我々でも見やすさを重視して作ることができるのではと感じました。赤は赤でも明度を重視することが大切で、迷ったときは白黒コピーで重要なところが伝わるか確認することができるということを学んだので、実践していきたいです。今までの感覚では、カラーの方が白黒より目立つという認識でしたが、カラーにするからこそまぎらわしいものになってしまう可能性もあるので、色弱を意識して色を正しく使っていきたいです。
- ・業務上、書類に複数の配色を行うことがあり、自分としてはそれが「分かりやすい」と思い込んでいたが、今回の講習を意識するの必要を感じた。また市民へ説明する際に、「この赤色部分が…」と色の見え方を意識せずに話していたので、説明方法にも気を遣おうと思う。
- ・当事者の方へ気軽にたずねでき、見え方についてお話できてよかったです。色紙は安易に使っていたが、可能な限り分かりやすいシステムを用いていきたい。レジュメはカラー印刷だと後日見返す際にも参考になると思います(難しいと思いますが…)。
- ・赤と緑の区別が付きにくい、同じに見えてしまうという人がいることを初めて知りました。それは区別できる色の種類がそれだけ少なくなるということなののでしょうか。
- ・冊子作成をする際にデザイン性を重視した検討が多くなり、弱視の方に向けた色味の採用やフォント、強調表現など、今後の業務に活かしたいと思います。
- ・色の組み合わせによる区別の難しさ、区別するための方法(字体を変える、白抜き文字にする、字字体を大きくして強調する等)が色々あることが新たな気付きとなり、今後の業務でチラシを作成したりする際に参考にしていきたいと思いました。
- ・伝えたいことばを目立たせるために、色を使用する(特に濃い、はっきりした色)ものだと思っていました。コントラストや書体、太さなど工夫できることもあると知ることができてよかったです。今後チラシを作成する際に、アプリなどを活用したいなと思いました。また、色以外でも伝わる情報を積極的に取り入れていく必要性を感じました。
- ・自分も色弱であったが、おそらく軽度?であるため重度のお2人のお話を聞いて、こんなにも見え方が違うのかと感じた。これから発行するチラシ等については、色遣いに頼らないデザインを意識していきたい。
- ・ルーペ等を用いた色弱模擬体験が大変印象に残った。色覚タイプにより色の区別のしづらい方がいることは知識としてあったが、より実感することができた。まさか強調のための赤が強調になっていなかったとは…!資料などを作成する時は、色だけに頼らない工夫を行っていきたくと思った。
- ・ツールやアプリを使用した講座で、色弱の方が生きている色感覚がよく理解できました。アプリについては今後どんどん活用していきたいと思います。小中学生向けに防災講座をすることがありますが、年齢が低くなるほど自分で色弱であることを気づいていない子も多くなると思うので、資料作成の際にも気をつける必要があると感じました。警戒レベルの配色も防災研修などで「色を変えてはいけない」とは言われますが、何故変えてはいけないのかまでは教えてもらえなかった(講師もその重要性を理解していなかったかもしれません)ので、今回その大切さを学べてとてもよかったです。
- ・色弱者の割合が思っていたより多いと感じた。色覚弱者にとってはあまり多くの色を使用したパンフレットやチラシは見にくいというお話がありましたが、より多くの方に手にとってもらうには目をひくような色

使いもある程度必要と考えるため、バランスが難しいと感じた。

- ・自分の見えている世界を当たり前と思わずに、様々な見え方があるということを、視力の良し悪しや白内障、緑内障など色も含めて一度考えてみるのが大切なのだと感じました。今までは、「カラーこそ伝わる!」、「色がついててなんぼ!」と思いチラシ作りやホームページ作成をしていましたが、白黒でも見やすくする方法があるんだと学び、色の使い方、工夫など、今日教えていただいたことを生かし、業務に取り組みたいです。有意義な研修をありがとうございました。
- ・色を使うことでより分かりやすい資料やポスター、チラシになったと思っていたが、色弱の方にとってはそうではないことも多いと学んだ。電話での書類の問い合わせに対して、〇〇色の用紙ですなど受け答えをすることも多いので、これからは可能な範囲で色紙に色の名前や番号を振ったりして、みなさんが使いやすいよう工夫していきたいと思いました。ポスターやチラシなど、イメージカラーを使うことが多かったのですが、「見やすさ」も念頭において作成したいと思います。
- ・色弱の方がいるという認識はあったが、普段チラシやポスターを作成する際に自分が見たときに良いものを作成できれば良いということしか考えていなかった。今回の講座を受け、すべての人が見える見やすいものを作るよう意識して今後の職務に活かしていきたい。
- ・日常業務の中で色弱の方を意識せずに対応していることを反省する機会になりました。自分にとっての当たり前が当たり前でないという意識を持ち、CUDチェックを習慣づけていきたいです。また当事者の方の意見を伺えたことが参考になり大変良かったです。本日はありがとうございました。

以下は、講座終了時にアンケートとともに記入してもらったワークシート(別添)問1~3の集計結果を問ごとにまとめたものである。

■問1 次のうち、あなたが以前から存在を知っているものにチェック☑してください。



ガイドブック

| 赤 | 黄赤 | 黄 | 緑 | 青 | 赤紫 |
|------------|------------|-----------|-----------|--------------|------------|
| | | | | | |
| 7.5R 4/15 | 2.5YR 6/14 | 2.5Y 8/14 | 10G 4/10 | 2.5PB 3.5/10 | 2.5RP 4/12 |
| 8.75R 5/12 | 5YR 6.5/14 | 7.5Y 8/12 | 5G 5.5/10 | 2.5PB 4.5/10 | 10P 4/10 |

JIS 安全色(下段が改正後)

| 識別情報等 | 色 | R G B 値 | 備考 |
|--|--|-----------------------|---|
| 警視レベル1 警視レベル2 警視レベル3 警視レベル4 警視レベル5 | 可変発生情報 避難指示、避難禁止(緊急) 避難禁止、避難指示(緊急) 避難禁止、避難指示(緊急) 注意喚起、注意喚起 | 黒 紫 赤 黄 青 | 可変発生情報は可変発生する可能性があるため、わずかに色味をつけている。 赤や黄との区別をしやすいように、やや暗めに調整している。 白との区別をしやすいように、やや濃いめで、識別に寄せている。 |
| 警視レベル1 | 早期注意喚起 | 白 | 255, 255, 255 |

大雨警戒レベルの配色

表1 問1の5会場全体の回答(チェック数)

| | 豊田市 | 日進市 | 知多市 | 長久手市 | 尾張旭市 | 全体 | % |
|--|-----|-----|-----|------|------|----|-----|
| 参加者数 | 18 | 19 | 20 | 19 | 18 | 94 | |
| 回収数 | 15 | 17 | 19 | 18 | 17 | 86 | 91% |
| 愛知県障害福祉課「視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック」(2018年2月発行) | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | 5 | 6% |
| 経済産業省 安全色及び安全標識に関するJIS改正(2018年4月20日公表) | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 | 5% |
| 内閣府(防災担当)大雨警戒レベルを示す5色の統一的使用の推奨(2020年5月29日公表) | 4 | 6 | 6 | 5 | 9 | 30 | 35% |

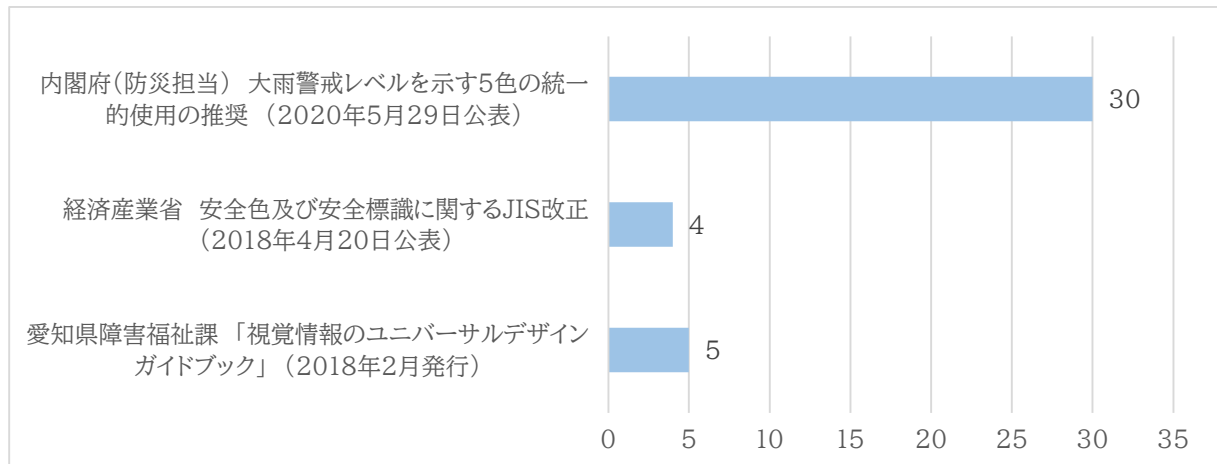


図1 5会場全体における3種資料の知名度

※問1の回答者が参加者の91%であることを鑑みても、愛知県障害福祉課発行の「視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック」(2018年2月発行)を知っていると回答した者がわずか5人であることに留意したい。

■問2 あなたがこれまでに取り組んできたCUD活動(CUDに対する意識や行動)を具体的に記入してください。

【豊田市】

- ・正直この研修を受けるまでは自分の好きな色でデザインするなどして意識できていませんでした。
- ・特に意識してこなかった。
- ・パワポ資料作成はインスタ等を参考にしながら感覚的に色の配置やデザインをしていた。
- ・広報誌など作成する際に見えやすさを意識して作成を行っている。
- ・広告入りおみやみハンドブックの作成で取り入れた描写を採用予定。
- ・同系色を一緒に使わない。
- ・色だけに頼らないチラシや資料の作成
- ・チラシ作成の際は”UD”と記されているフォントを使用するように心がけています。
- ・これまで意識して取り組んでいなかったため、意識した資料作成(外向け, 中向け)に取り組みたいです。
- ・色だけではなく、下線や太字を使用するように取り組んできました。

【日進市】

- ・今まで特に意識したことはなかった。
- ・特にありませんでした。
- ・特になし。
- ・資料作成の際には色弱の方にも見えやすいよう意識しました。
- ・色の違いだけに頼らない資料作り
- ・具体的に意識して取り組んできたものは思い浮かばないので、今後意識的に業務等に取り入れていきたいと思う。
- ・特になし
- ・特にありません
- ・同僚に赤色が見えにくい人がいたため、色弱の人でもわかりやすい色を使用するようにした。
- ・特になし
- ・防災関連部署に所属していた時に、内閣府大雨警報レベルのHPの更新や説明資料を作成した。

【知多市】

- ・取り組んできたことがなかった。今日の講義を機会に興味をもっていきたい。
- ・特に意識したことはありませんでした。
- ・今まで意識してCUD活動に取り組んだことはなかったため、今回の講義でCUDについて学ぶことが多くあったので、活かしていきたい。
- ・なし
- ・色弱の方に配慮し赤と緑を合わせて使わないように配慮しています。
- ・色弱の方がいることは何となく知っていましたが、具体的にどういう見え方をしているかを知らず、意識して行動できていませんでした。今後は今日学んだことを活かしてチラシ作成などすすめていきます。
- ・ちらしを作成する際に、白黒印刷をしても見やすい配色やデザインを心がけている。
- ・広報誌の作成にあたり、見やすい色づかいを心がけた。
- ・文字をうすい色にしない。目立たせる時は大文字にする。
- ・色づかいに注意はしていませんでしたが、色弱者の立場からは考えていなかった。
- ・グラフを作成する際、色で項目を分けるのではなく柄で分けるようにしていた。
- ・印刷物で使用する色紙、白抜きの文字

【長久手市】

- ・具体的に意識できていた部分は少ないですが、高齢者の方の目に触れるチラシを多く作ってきたので、複雑な色づかいはなりすぎず、大きな文字で作るようにしてきました。
- ・今まであまりCUDについて意識しませんでした。

- ・学校の先生が赤(ピンク)のチョークを使っていなかった。赤色が見えづらい方がいること、色の違いが分かりづらい方がいることは知っていた。
- ・特段行っていません。
- ・特に意識はしていなかったが、フォントや文字サイズの工夫はしていた。
- ・文字に枠をつける程度の配慮してこなかった。一般色覚の立場でしか考えていなかった。
- ・色の濃淡を使い分けていた。
- ・できる限り文字を大きくしたり、字体を変えることで強調していました。
- ・仕事で作成する広報物等のCUD化
- ・「CUD」という言葉自体、初耳でした。
- ・配色を考えてチラシを作成すること。
- ・家族に色弱の当事者がいるため、見え方を聞く。
- ・特に意識したことはありませんでした。
- ・なし

【尾張旭市】

- ・資料等を作成する際にはコントラストを大きくするように心掛けている。
- ・特に今まで取り組んできたことはなかったです。
- ・イベントのチラシ等に色のシミュレータを使い、配色に気をつけています。
- ・「赤色で強調する部分は太字にする」程度のみであまり意識できていなかったもので、これから取り組んでいきたいと思えます。
- ・今まであまり意識していませんでした。今後は今日の研修の学びを意識していきたいと思えます。
- ・意識したことはありませんでした。
- ・これまであまり意識したことがなかったです。
- ・スマホアプリを使って発行物を見てから発行する。
- ・プレゼンでの資料作成に色のちがいで分かりやすくしようと取り組みましたが、本日の研修でグラフの作り方などにもっと工夫が必要だと思いました。
- ・カラーで作成したものを白黒で印刷した際に見にくいところがあればフチ取りするなど文字の見やすさ、目立ちやすさを意識した。
- ・恥ずかしながらあまり取り組んでいなかった。
- ・特にありません。
- ・特に取り組んではいなかったです。
- ・HPのバナー作成の際に、コントラスト差をつけて分かりやすくしている。

■問3 今後、あなたやあなたの市町村に必要なCUDの取組みは何であると考えますか。以下の項目から、優先したいモノ・コトを3つ選び、該当するものにチェック☑を入れてください。

- ・行政刊行物・パンフレット・チラシ等の市民配布用の印刷物や、ポスター・デジタルサイネージ等の公共施設用掲示物の色づかい(文字・グラフ・地図等の色づかい)
- ・職場内部向けの掲示物やプレゼンテーション資料の色づかい
- ・ホームページの色づかい
- ・施設の案内サインやトイレ個室のドアノブ窓等の色づかい
- ・職場の備品の色選択(筆記具, 保管分類用ファイルのカラーバリエーションへの配慮)
- ・色の名前に頼らない言葉づかい
- ・その他(具体的に記入)

表2 問3の5会場全体の回答(チェック数)

| | 豊田市 | 日進市 | 知多市 | 長久手市 | 尾張旭市 | 全体 | % |
|---|-----|-----|-----|------|------|----|-----|
| 行政刊行物・パンフレット・チラシ等の市民配布用の印刷物や、ポスター・デジタルサイネージ等の公共施設用掲示物の色づかい(文字・グラフ・地図等の色づかい) | 13 | 16 | 17 | 17 | 14 | 77 | 90% |
| 職場内部向けの掲示物やプレゼンテーション資料の色づかい | 7 | 8 | 4 | 4 | 4 | 27 | 31% |
| ホームページの色づかい | 9 | 12 | 12 | 10 | 7 | 50 | 58% |
| 施設の案内サインやトイレ個室のドアノブ窓等の色づかい | 8 | 9 | 7 | 8 | 8 | 40 | 47% |
| 職場の備品の色選択(筆記具, 保管分類用ファイルのカラーバリエーションへの配慮) | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 8 | 9% |
| 色の名前に頼らない言葉づかい | 8 | 10 | 12 | 10 | 14 | 54 | 63% |
| その他(具体的に記入) | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2% |

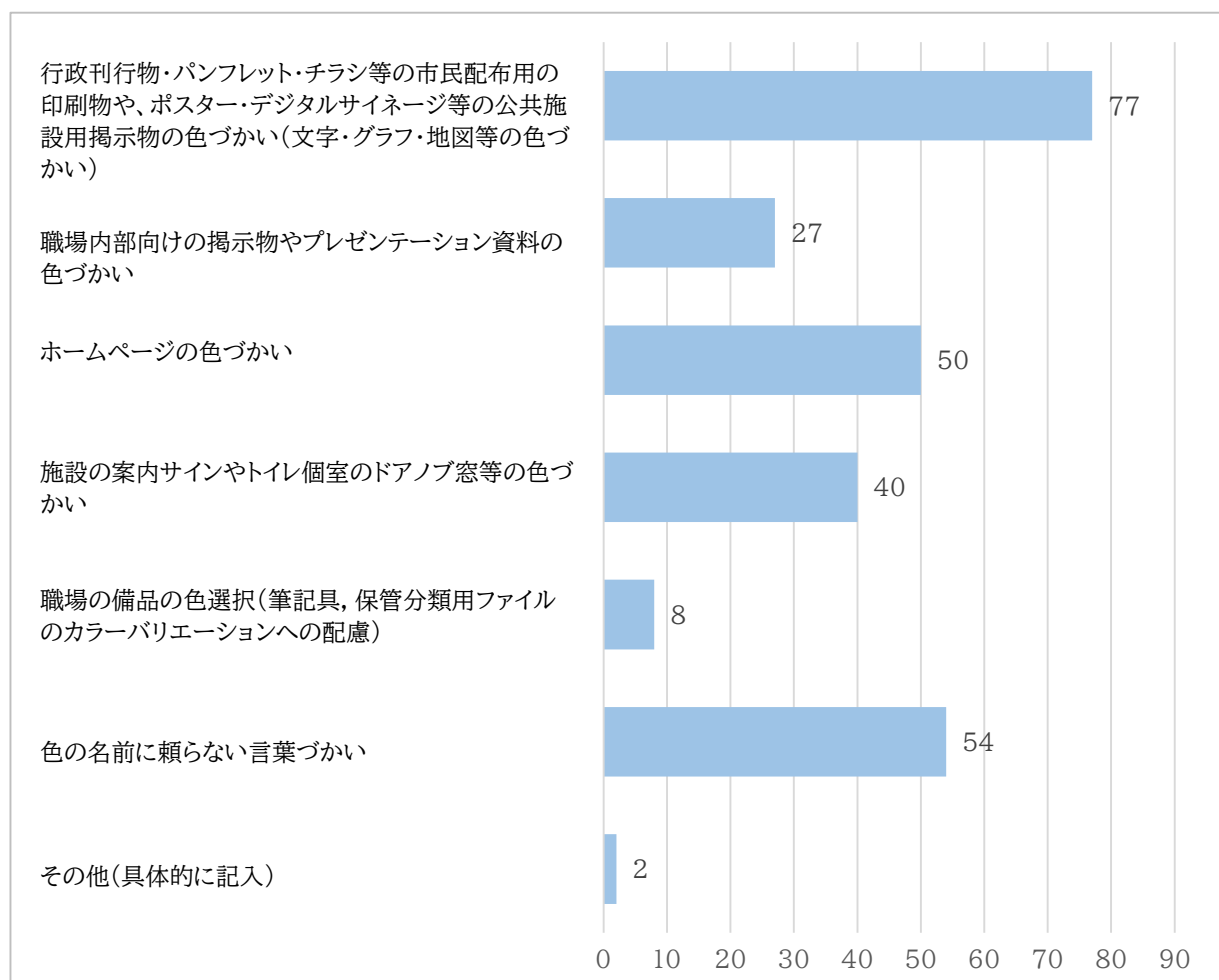


図2 5会場において優先したいものとして選ばれたCUD

以上
(2024/03/08作成)